

<p style="text-align: center;">だい かいよこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎかい 第1回横浜市障害者差別解消支援地域協議会</p>	
<p>にちじ 日時</p>	<p>れいわ ねん がつ か すいようび ごぜん じ しょうご 令和3年2月24日（水曜日）午前10時から正午まで</p>
<p>かいさいばしょ 開催場所</p>	<p>よこはまわー ー る ど ぼー たー ー ず い べ ん と ほー ー る 横浜ワールドポーターズ イベントホールA</p>
<p>しゅつ せき しゃ 出席者</p> <p>ぐ る ー ぶ (グループ)</p> <p>じゅん 順)</p>	<p>1 グループ おおぬき よし いいん おおのいいん さとういいん たかぎいいん たかさきいいん 大貫（義）委員、大野委員、佐藤委員、高木委員、高崎委員、</p> <p>ならぎきいいん 奈良崎委員</p> <p>2 グループ うちじまいいいん すやまいいいん ながたいいん わくいいん わだいいん 内嶋委員、須山委員、永田委員、湧井委員、和田委員</p> <p>3 グループ いのうえ よし いいん しみずいいん くつざわいいん さどいいん まつしまいいん 井上（良）委員、清水委員、沓澤委員、佐渡委員、松島委員</p> <p>ぐ る ー ぶ いけだいいん いわきいいん さのいいん まつきいいん やましたいいん 4 グループ 池田委員、岩城委員、佐野委員、松木委員、山下委員</p> <p>いしわたかいちょう ぜんたいどうかつ 石渡会長（全体統括）</p>
<p>けつせきしゃ 欠席者</p>	<p>いのうえ あきら いいん おおばいいん おおぬき のぞみ いいん かとういいん しぶやいいん わかぐり 井上（彰）委員、大羽委員、大貫（望）委員、加藤委員、渋谷委員、若栗</p> <p>いいん すずきいいん かなさしいん うちだいいん つかだいいん もりいいん 委員、鈴木委員、金指委員、内田委員、塚田委員、森委員</p>
<p>ぎだい 議題</p>	<p>1 しょうがいしゃさべつ かん そうだんたいおうじれい 障害者差別に関する相談対応事例</p> <p>2 しょうがいしゃさべつ かん そうだんたいおう かだいけんとうかいぎ 障害者差別に関する相談対応の課題検討会議</p> <p>よこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎかいぶかい かいさいほうこく (横浜市障害者差別解消支援地域協議会部会) の開催報告</p> <p>3 ぐ る ー ぶ わー く グループワーク</p> <p>4 た その他</p>
<p>ぎじ 議事</p>	<p>1 かいかい 開会</p> <p>しょうがいふくしほけんぶちょう (障害福祉保健部長あいさつ)</p> <p>2 ぎだい 議題</p>

ぎ だ い し ょ う が い し ゃ き べ つ か ん そ う だ ん た い お う じ れ い
議題1 (障 害 者 差 別 に 関 す る 相 談 対 応 事 例)

い し わ た か い ち ょ う ぎ だ い じ む き よ く せ つ め い ね が
(石 渡 会 長) そ れ で は ま ず 、 議 題 1 に つ い て 事 務 局 よ り 説 明 を お 願 い し ま
す 。

じ む き よ く し り ょ う せ つ め い
(事 務 局) (資 料 1 の 説 明)

い し わ た か い ち ょ う そ う だ ん で い ろ い ろ じ れ い
(石 渡 会 長) こ れ だ け の 相 談 が 出 て く る と 、 色 々 な 事 例 が あ る の だ と い う
こ と を 改 め て 感 じ た が 、 こ の 相 談 事 例 に つ い て も 、 グ ル ー プ の 中 で 意 見 交 換
を し て い た だ け れ ば と お 願 い し ま す 。

そ れ で は 、 つ ぎ ぎ だ い ほ う こ く つ づ じ む き よ く ね が
次 に 議 題 2 の 報 告 に つ い て 続 け て 事 務 局 よ り お 願 い し ま す 。

ぎ だ い し ょ う が い し ゃ き べ つ か ん そ う だ ん た い お う か だ い け ん と う かい ぎ
議題2 障 害 者 差 別 に 関 す る 相 談 対 応 の 課 題 検 討 会 議

じ む き よ く し り ょ う せ つ め い
(事 務 局) (資 料 2) の 説 明

い し わ た か い ち ょ う ぶ かい と き も あ き ょ う ぐ る ー ぶ
(石 渡 会 長) 部 会 の 時 か ら 可 成 り 盛 り 上 が っ た の だ が 、 ぜ ひ 今 日 は グ ル ー プ
ご と に 議 論 を 深 め て い た だ け れ ば と お 願 い し ま す 。 で は 、 グ ル ー プ ワ ー ク の 進 め
か た じ む き よ く ね が
方 を 事 務 局 よ り お 願 い し ま す 。

ぎ だ い ぐ る ー ぶ わ ー く
議題3 グ ル ー プ ワ ー ク

じ む き よ く ぐ る ー ぶ わ ー く せ つ め い
(事 務 局) グ ル ー プ ワ ー ク の 説 明

ぐ る ー ぶ わ ー く
【 グ ル ー プ ワ ー ク 1 】

い し わ た か い ち ょ う は っ ぴ ょ う ぐ る ー ぶ て あ
(石 渡 会 長) そ れ で は 発 表 し た い グ ル ー プ が あ れ ば 手 を 挙 げ て い た だ け
ま す か 。 で は 3 グ ル ー プ か ら お 願 い し ま す 。

(3 グ ル ー プ) と て も い い 話 が で た の で 皆 さ ん に 紹 介 し ま す 。 今 ま で に

しょうがい たい へんけん も ぜんいん
障害に対して偏見を持ったことがあるかということについては全員が YES
でした。か こ ふく かんが いま しょうがいしゃ かん へん
過去も含めて考えたときに、今まで自分は障害者に関しての偏
けん きべつ みな はなし
見や差別をしてきたのではないかということが皆さんからお話いただきま
した。じぶん き
自分がそういうことをしているということを気がつけるかがすごく
たいせつ はなし ぐたいてき えび そーど はなし
大切だという話 ができました。具体的なエピソードですごくいいお話 があ
ひじょう じゅうど しょうがい こ じもと ふつこう い
ったのですが、非常に重度の障害のあるお子さんが地元の普通校に行き
たいという話 があり、それを初めて聞いた委員は「それはひょっとしたら
おや え こ しょうがい こ とくべつしえんがっこう ほう
親のエゴではないのか、障害のある子どもは特別支援学校の方がいいので
はないか」とおもわれたそうです。ただ、ちよくせつ かあさま こ つ い
直接お母様がお子さんを連れて委
いん あ ほんにん あ きも か こ
員のところにお会いに来て本人に会ったら気持ちが変わったそうです。その子
ちいき いっしょ べんきょう きも つた じぶん
が地域でみんなと一緒に勉強 したいという気持ちが伝わってきて自分の
へんけん き ちいき ひと こえ こえ がっこうちょう
偏見に気づいた。そこから地域の人に声をかけ、PTAに声をかけ、学校長
きょうりよく いま こ じもと しょうがっこう かよ こ
の協力のもとで、今はその子は地元の小学校に通っていて、子どもたち
もそれをさりげなく受け入れてくれている、ということがあるそうです。そ
こ ま ちゅうがくせい ちゅうがっこうがわ こ う じゅんぴ
の子は間もなく中学生ですが、中学校側でもその子を受け入れる準備を
しているという話 がありました。き づくこと いろいろ うご
気づくことでいろんなことが動いていく
ぐたいてき えび そーど も かた しょうがい
ということが、具体的なエピソードを持って語られたのでぜひ紹介したい
おも
と思いました。

いしわたかいちょう ちいき おお か ほう
(石渡会長) そのように地域が大きく変わっていくきっかけを、その方が

つく よこはま ちから かん
作ってくださった横浜の力みたいな感じます。ありがとうございます。
た。

ほか ぐるーぶ ぐるーぶ はっぴょう
他にももう1グループぐらい発表していただきたいが。それでは4

ぐるーぶ ねが
グループお願いします。

ぐるーぶ みな こ ころ がくせいじだい わかか ころ へんけん
(4グループ) 皆さん子どもの頃だとか学生時代、若かった頃に偏見があ

つたなっていうのを振り返りながらのお話をしてくださいました。共有

したいなとおもったこととして一つは、委員として来ているということもあ

るのでしょうが、仕事柄偏見を持たないようにして心掛けているとか、あ

と合理的配慮はしっかり心がけているというのはあるのだけれども、逆

にそのことによって、先入観をもってしまっているのではないかと話題に

なりました。要は障害があるとか、当事者とかの枠組みで障害のある人

をとらえてしまっているのではないかと。そうではなくて、その個人がどう

かんが ひと む あ ひつよう きょうあらた
考えているとか、その人と向き合う必要があるというのは今日改めて

わだい で しょうがい いいん じぶん しょうがい へん
話題に出ました。あとは障害のある委員からも、自分に障害があると偏

けん も おお じぶん
見を持たれることがすごく多いと話が出た。ただ、そのことによって自分の

なか いま へんけん き
中には今まで偏見があったっていうことに気づくというきっかけができまし

た。例えば環境整備というのか、目に見える障害の方だと、支援をすぐ

してもらえていい。いわゆる目に見えない障害の方だとなかなか人に補助

してもらえなかったりする。目に見える所があったらいいなとつい思って

しまったりしたこともあったと、その主に2点を共有したいと思います。

いしわたかいちょう (石渡会長) ありがとうございました3グループからは気づきの話が出
ましたが4グループからは先入観と、偏見を持たれたことが逆に自分の
偏見に気づくというような、それぞれ深い議論をしていただけていると思
います。それではここで、内嶋副会長にコメントをもらいます。

うちまふくかいちょう (内嶋副会長) 2点だけ、あえてコメントを申し上げたいと思います。一

つは最初の課題で差別をしたことがありますかというお話で、その「差別

をする、してしまう。」かは、偏見を持ってしまう側から見ると、二つ大き

く差別や偏見が生まれてしまう原因があると思います。

一つは皆さんがおっしゃるように知識がないため。知らないということ

です。特に障害に関する差別や偏見について言えば、やっぱり見えにくい

障害というのはありますね。さっきうちのグループでも実は聴覚障害の

方から、そういうご意見が出たんですが、例えば内部障害の方もそうです

けども、見えにくい障害の方が偏見や差別を受けやすい場合もある。見え

る障害の方は差別を受けないのかというと、逆に見える障害の方は強

烈な差別を受ける可能性もあります。私は自分で告白しましたが、

精神障害の方について、若い頃怖いという差別というか偏見がありまし

た。それは謝りました。精神障害の方の外見というか、問題行動を、

自分の記憶の中で持っていてそれが払拭できないからそういうことになっ

たんですね。ですので、まずはその差別とか偏見の対象となる事柄のこと

をやっぱりよく知るという必要があると思います。それからもう一つが、こ
れはうちのグループの委員がおっしゃったのですが、障害がある、あるい
は差別を受ける、偏見を受ける側の気持ちをわかってもらえれば、偏見や
差別は減るのではないかということでした。委員のお話の中では、バスの
運転手が障害のある乗客の方に非常につらい態度を示しても、もしそ
のバスの運転手が自分も障害があれば、障害のある方の気持ちはわかる
はずだから、そうすると優しい気持ちで接せられるんじゃないかというこ
とでした。こういうお話は、小学校の道徳のときから多分我々散々聞かさ
れている。それがなぜできないかということですが、恐らく、「人の気持ち
を知る、相手の気持ちを知る」というのは実はけっこう高等な技術なので
す。自分に余裕がない時はできない。私達立場上ですね、例えば国籍とか
人種差別の問題を取り扱うのですが、いわゆるヘイトということをやっ
ている人たちは、結構その人たちの待遇や境遇が悪い人たちもいる。つま
り自分たちのつらい思いというのを、人に対する差別にぶつけていくとい
うことをやる人たちがいるんですが、それは結局自分がつらいので、もう
視野が狭くなってしまって、周りが全然見えなくなっている。そういう人
に「知れ」というのはなかなか大変なのですが、じゃあそこを打破するため
にはどうしたらいいかというと、やはり障害や偏見をその狭いエリアで問
題にするのではなくて、社会化していくこと。先ほどの、重度の障害の方

ふつうきゅう ちゅうがっこう にゅうがく はなし かてい ほんにん
が普通級の中学校に入学するという話で、その過程において、ご本人
らん かか かた じぶん ひとはだぬ おも だいじ
をご覧になってその関わった方が自分も一肌脱ごうと思ったことも大事な
ことだが、もう一つ大事なことはそこが広がっていったこと。地域に広がり
ひと だいじ ひろ ちいき ひろ
学校に広がり、おそらく行政にも広がっていったと思う。その広がりとい
がっこう ひろ ぎょうせい ひろ おも ひろ
うのがないと、なかなかこの問題は解決できない。一つの手段として、
たど ほうりつ わくぐ つく かた しょうがいしゃきべつかいしょうほう
例えば法律という枠組みを作ってやるというやり方。障害者差別解消法
つく いま えき ほーむ こま かた こえ
を作ったおかげで、今は駅のホームで、「困っている方がいたら声をかけて
ください」とアナウンスが流れるようになった。これはもうすごいことなん
じゅうぶん かぎ あいだ なが
ですよ。もちろん充分とは限りませんが、ついこの間まで流れてなかつ
たので、やればできるということです。だからその位くらいやればできるとい
しゃかい なか ひろ つぎ ぐるーぷわーく なか
う、社会の中でどんどん広げていくということを次のグループワークの中
はなし
でお話をするようなので、この辺で私のコメントは終わりにさせていただきます。

いしわたかいちょう つぎ ぐるーぷわーく さべつ じぶん
(石渡会長) 次のグループワークの2で、「差別をどうなくすか、自分が
やれることは」といった話はなしになっていくかと思っておりますので、ここで10分ほ
きゅうけい すこ あたま いま ぎろん
ど休憩をして少し頭をリフレッシュしていただいて、今までの議論など
か つぎ ぐるーぷわーく む おも
も噛みしめながら次のグループワークに向かっていただきたいと思います。

きゅうけい
【休憩】

いしわたかいちょう ぐるーぷわーく ぎろん じむきょく
(石渡会長) それではグループワークの2の議論について、事務局から

せつめい ねが
説明をお願いします。

じむきよく ぐるーぶわーく せつめい
(事務局) グループワークの説明

(ぐるーぶわーく
【グループワーク2】

いしわたかいちょう みな だいじ こえ で きょうゆう
(石渡会長) 皆さんから大事な声が出ているので、それを共有したい

おも さき はっぴょう ぐるーぶ ぐる
と思います。では先ほど発表していただいている、1グループと2グル

ーぶ ほうこく おも ぐるーぶ ならぎいいん す
ープからご報告をいただければと思います。1グループは奈良崎委員が素

てき え か き み ほう き
敵な絵を書いている、聞くよりも見た方がいいのかなという気はするのです

ねが
をお願いします。

ぐるーぶ ぐるーぶ へんけん さべつ
(1グループ) 1グループでは、偏見や差別をなくすようにするにはという

わたし みな
ことと、私にはこれができるということを皆さんでまとめていただきました。

もぞうし くふう しじ
この模造紙にまとめるにあたって、ちゃんと工夫してやりなさいという指示

けっきよく ならぎいいん すてき ながおえ え
をいただいたが、結局やりきれなくて、奈良崎委員に素敵な似顔絵と絵を

か で いけん しょうがい
書いていただきました。出た意見としましては、やはりいろいろ障害があ

しょうがい し きかい ひつよう
るといことや、障害ということを知ってもらう機会がやっぱり必要だ、

いろいろ じぎょう じぶん かつどう とお し きかい
色々な事業だったり、自分の活動を通して知っていただく機会というのを

つく ひつよう いけん で
しっかりと作っていくということが必要だという意見が出ています。また、

しょうがい いいん しょうがい あんしん ひと い
障害のある委員からは、障害があるということを安心して人に言えるよ

うになるようにしていかなきゃいけないのではないかというようなご意見も

ありました。ただ一方で時間も必要で、そんなにすぐには理解・啓発とい
うのは浸透していかない部分もあるので、時間をかけてしっかりと伝えてい
くということが必要ですというような話が出ています。そして皆さん私
にはこれができるということで、宣言をしていただいたことですが、
事業や仕事や業務を通じて障害のことをしっかりと啓発をしていくこと
はできますということは、宣言をしていただきました。また、ご自身が困っ
ている、あるいは困っていらっしゃる方に対して自ら声をかけていく、手助け
するということはしっかりとできますというお話や、あとはすぐ友達にな
れますというようなご意見もいただきました。やはりその人を障害者とし
て見るのではなくて、しっかり人として、障害があってもなくてもいい
関係を築いていくことができるというようなお話をいただきました。素敵
な絵がありますのでまた後ほど近くに来て見ていただければと思います。
(石渡会長) 大事なメッセージがたくさん入っていました。では、2グル
ープをお願いします。
(2グループ) 2グループは、皆さんの思いを、1番・2番・3番と項目
ごとに貼ってみました。主にお話の中では、自分たちはこれができるとい
うことをやるということは、その前にいろんな経験があったり、気持ちが
あったり、自分の立場があったり、そういうことを踏まえてできるというこ
とに繋がっていくと思ったので、できることを中心にお話していただき

ました。その中のご意見で、私は誰にでも優しくできる、ということはず

まり、つながりを作るということかなという話^{はなし}がでた。それがあって特に

差別^{さべつ}や偏見^{へんけん}はなく、どこかで繋が^{つな}っていくのかなというふう^{おも}に思いまし

た。他にも産む、育てるという話^{はなし}もあった。「そんなこと、どうして」とい

うことで自分で立ち上が^{たか}って当事者^{じぶん}の会^{たいせつ}を作られたり戦^{たたか}っていく。力を

自分で出^だしていくことができるというお話を^{はなし}されて、他にもそういうとて

も大切なことを考^{かんが}えさせられる時間^{じかん}になりました。

(石渡^{いしわた}会長^{かいちょう}) 当事者^{とうじしゃ}の立場^{たちば}でないと、言^いえないようなことを言^いっていただ

いていると思^{おも}います。せつかなので3、4グループ^{ぐるーぷ}から、どんな発表^{はっぴょう}が

あ^もって盛り上^あがったかをお聞^ききできたらと思^{おも}います。

(3グループ^{ぐるーぷ}) 前段^{ぜんだん}のワーク^{わーく}にも引^ひき続^{つづ}いて、気^きづきだとか、地^ち域^{いき}というこ

とがテ^てーマ^まで話^{はな}されました。ほとんどの委^{いいん}員^{みな}の皆^ちさん^{いき}が、や^ちはり地^ち域^{いき}での

活^{かつどう}動^{しょうがい}で、障^{ひと}害^{せい}のある人^{せいかつ}がそ^しこ^しで生^し活^しを^して^しいる^しとい^しう^しこ^しを^し知^しっ^して^しも^しら^しう

必^{ひつよう}要^{よう}がある^{よう}とい^{よう}う^{よう}こ^{よう}と^{よう}で、お^{たが}互^{たす}いに^あ助^{とうじしゃ}け^あ合^あう^あた^あめ^あに^あは、^あ当^あ事^あ者^あが^あア^あピ^あー^あル^あを

す^しると^しか、知^しること、知^しら^しせる^しこと、啓^{けいはつ}発^{はつ}とい^{だいじ}う^{だい}の^{だい}が^{だい}す^{だい}ご^{だい}く^{だい}大^{だい}事^{だい}とい^{はなし}う^{はなし}話^{はなし}

が^{なか}あ^{なか}り^{なか}まし^{なか}た。そ^{なか}の^{なか}中^{なか}で^{なか}も、^{なか}当^{なか}事^{なか}者^{なか}ご^{なか}自^{なか}身^{なか}が^{なか}今^{なか}ま^{なか}で^{なか}も^{なか}や^{なか}っ^{なか}て^{なか}き^{なか}た^{なか}し^{なか}こ^{なか}れ^{なか}か

ら^{ぼらんていあかつどう}も^{ぼらんていあかつどう}や^{ぼらんていあかつどう}っ^{ぼらんていあかつどう}て^{ぼらんていあかつどう}い^{ぼらんていあかつどう}く^{ぼらんていあかつどう}こ^{ぼらんていあかつどう}と^{ぼらんていあかつどう}し^{ぼらんていあかつどう}て^{ぼらんていあかつどう}ボ^{ぼらんていあかつどう}ラ^{ぼらんていあかつどう}ン^{ぼらんていあかつどう}テ^{ぼらんていあかつどう}ィ^{ぼらんていあかつどう}ア^{ぼらんていあかつどう}活^{ぼらんていあかつどう}動^{ぼらんていあかつどう}を^{ぼらんていあかつどう}ず^{ぼらんていあかつどう}っ^{ぼらんていあかつどう}と^{ぼらんていあかつどう}や^{ぼらんていあかつどう}っ^{ぼらんていあかつどう}て^{ぼらんていあかつどう}い^{ぼらんていあかつどう}る^{ぼらんていあかつどう}の^{ぼらんていあかつどう}で、^{ぼらんていあかつどう}そ^{ぼらんていあかつどう}れ^{ぼらんていあかつどう}

を^{つづ}続^{つづ}け^{つづ}て^{つづ}い^{つづ}き^{つづ}たい^{つづ}とい^{つづ}う^{つづ}話^{つづ}が^{つづ}あ^{つづ}り^{つづ}まし^{つづ}た。横^{よこはま}浜^{はま}が^{よこはま}ず^{よこはま}っ^{よこはま}と^{よこはま}大^{だいじ}事^{だいじ}に^{だいじ}し^{だいじ}て^{だいじ}き^{だいじ}た

当^{とうじしゃせい}事^{せい}者^{せい}性^{せい}を^{せい}大^{せい}切^{せい}に^{せい}し^{せい}て、^{せい}そ^{せい}れ^{せい}を^{せい}き^{せい}っ^{せい}か^{せい}け^{せい}に^{せい}伝^{つた}え^{つた}て^{つた}い^{つた}く^{つた}て^{つた}い^{つた}う^{つた}こ^{つた}と^{つた}は^{つた}こ^{つた}れ^{つた}か

じゅうよう つづ ちい ころ せいかつ
らも 重 要なので続けていきたいということですか、小さな頃から生活を
ちか しょうがい ひと あ まえ
するときに近くに 障 害のある人がいることが当たり前になるように、その
きょういく か ひつよう どうじしゃ うった
ためには 教 育が変わる必要があるということで、それを当事者として 訴
はなし ちいき たいせつ かつどう いいん
えていきたいという 話 ですか、地域が大切なので、活動している 委員が
わく みんせいいいんじどういん そうだん かんきょう つく
らは 枠にとらわれずに 民 生委員児童委員として、相談しやすい環 境 を作っ
はなし わたし なん や はなし
ていきたいというお 話 があって、私 は何でも屋さんですというお 話 があ
りました。

いしわたかいちょう
(石渡会長) ありがとうございます。では4グループお願いします。

ぐるーぶ ぐるーぶ はなし い ひと じんかく たちば た
(4グループ) 4グループの 話 で言いますと、その人の人格とか立場、多

ぶんしょうがい かか おも
分 障 害のあるなしに関わらないと思うのですが、そういったところを 尊

ちよう ひと し はなし とく
重 するにはその人のことを知らなきゃいけないという 話 があった。特に

しょうがい ひと い み い しょうがい ひと こうりゅう ばめん
障 害のある人という意味で言えば、障 害のある人と交 流 をする場面がな

はなし しょうがい へんけん も
くちやいけないという 話 がありました。ただ、障 害のことに偏見を持っ

きょうみ ひと たい こうりゅう ば つく
ていたり 興 味がない人に対しては、そういう交 流 の場を作ることがまず

むずか きがる こうりゅう だいじ
難しいだろうということで、気 軽に交 流 ができるようにすることが 大 事。

こ じゅぎょう しゃかい か けんがく おとな しょうがい
あとは子どもが授 業 で社会科見学をするように、大 人もそういう 障 害

しゃ ひと つど かつどう ばしょ けんがく かい つく
者の人が集っていたり活動している場所に見学するような会を作れたら

おとな ばめん み べんきょう まな
いのではないかと。大 人でもそういった場面で見 勉 強 して、学 ぶのが

だいじ こ とく おし み まな
大 事 だけ、子 どもは特に教 えなくても、見 ているだけできちんと学 んでく

はなし はなし みな
れるというような 話 もありました。できることの話 は、皆 さんのそれぞれ

たちば ぼらんていあ どうじしゃ しごと ぼめん たと きょう
の立場でボランティアだったり、当事者からお仕事の場面で、例えば今日

はなし いまい こうりゅう ば しょうがい
の話や、それから今言った交流の場だったり、障害がどんなことなのか

はっしん はなし
とか、そんなことを発信していくことができるのではないかという話でした。

いしわたかいちょう ぐるーぶ ほんとう
(石渡会長) 4グループありがとうございました。本当にそれぞれの

ぐるーぶ だいじ はなし きべつ
グループから大事な話をしていただけて、やはり差別をなくすには、とに

むち し か
かく無知で知らないということをどのように変えていくかです。そのために

とうじしゃ かた たちば ひと ちいき いっしょ うご だいじ
は当事者の方と色々な立場の人が地域で一緒に動くことが大事だという

あらた かん きょう ぐるーぶわーく じむ
ことを改めて感じました。今日のグループワークについては、まず事務

きよく ぜんたい おも きたい おも
局が全体をまとめてくださるかと思うので、それはそれで期待したいと思

ひろ だいじ いけん
うが、広げていくことが大事だというご意見もたくさんありましたので、せ

みな きょう も ぼ かえ ぎろん まわ
ひ皆さん今日それぞれの持ち場に帰ったらこの議論をちょっとずつでも周り

ひろ はいしん ひろ おお ちから
に広げる配信や、じわじわっと広げて大きな力になるようなことをやって

おも そしき いろいろ ぎろん ふか
いけたらいいなと思いました。ぜひそれぞれの組織で色々な議論を深めて

おも きょう ぐるーぶわーく
いただけたらというふうに思います。では今日のグループワークはこれで

しゅうりょう ほんとう きちよう いけん
終了させていただきます。本当に貴重なご意見たくさんいただけてとて

みの おお おも つづ ほんらい したい ほうこく じむきよく
も実り多かったと思います。続いて、本来なら次第3の報告を事務局か

じかん かぎ みな なに しつもん
らしていただくところですが、時間も限られているので皆さん何かご質問

じむきよく ちよくせつ ねが いた きょう ぎじ しゅう
があれば事務局に直接お願い致します。それでは今日の議事はこれで終

りょう おも みな はくしゅ きょう わーく しゅうりょう
了したいと思います。皆さんそれぞれに拍手をして今日のワークは終了

とさせていただきます^{おも}と思います。

はくしゅ
【拍手】

ほんとう みな つか さま
本当に皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。

4 その他（事務連絡）

じむきょく さいご じむきょく てん れんらく ほんかいぎ
（事務局）最後に事務局から1点ご連絡がございます。これまで、本会議で

しょうがいしきくすいしん かちょう よこはましけんこうふくしきょく だいひょう いいん はい
は障害施策推進課長が横浜市健康福祉局を代表し委員として入っ

ていまして、らいねんど すこ たいせい へんこう しょうがいしきくすいしん か
ていまして、来年度から少し体制を変更いたします。障害施策推進課

ちょう じむきょく たちば かいぎ くわ か おな けん
長は事務局の立場でこの会議に加わることとし、変わらしまして、同じ健

こうふくしきょくない ふくし たんどう ふくしほけんかふくしほけん
康福祉局内で、福祉のまちづくりを担当している福祉保健課福祉保健

せんたー たんどうかちょう いいん はい おも
センター担当課長に委員としてお入りいただくようにしたいと思いの

で、みなさま りょうしょう かんたん さどいいん あたら はい
で、皆様ご了承承ください。簡単ではございますが佐渡委員と、新しく入

ふくしほけんせんたー たんどうかちょう あいさつ おも
る福祉保健センター担当課長からご挨拶をいただきたいと思いの

さどいいん いいん かい さんか ほんとう
（佐渡委員）委員としてこの会に参加させていただいて本当にありがとう

ございました。これからは事務局としてみなさま ぎろん かん
ございました。これからは事務局として皆様が、議論をしやすいような環

きょうづく ほう ちから そそ おも いいん はつ
境作りの方に力を注いでいきたいというふうに思います。委員として発

げん ひじょう さび
言できなくなるのは非常に寂しいところではあるのですが、これからま

いっしょ みなさま かい も あ おも ねが
た一緒に皆様とこの会を盛り上げていきたいと思いののでよろしくお願

いた
い致します。ありがとうございました。

ふくしほけんかふくしほけんせんたー たんどうかちょう ちいきふくしぶ えはら もう
（福祉保健課福祉保健センター担当課長）地域福祉部の江原と申します。

	<p>ふくし たんとう しょうがい かた 福祉のまちづくりの担当しております、障害のある方だけではなく、</p> <p>こうれい かた こそだ ベビーカー かた ふく ぼり ご高齢の方ですとか子育てで、ベビーカーなど、そういう方も含めてバリ</p> <p>あふりー ふくし たんとう おも たてもの えき アフリーや、福祉のまちづくりを担当しています。主には建物とか、駅と</p> <p>はなし おお さいしゅうてき さべつ ところ いしき いう話が多いのですが、やっぱり最終的には差別や、心の意識のような</p> <p>はなし じつ いん みな なか ふくし いいん 話になってきます。実は委員の皆さんの中には、福祉のまちづくりの委員</p> <p>じゅうふく かた とも重複されている方がいらっしゃいますので、そういうこともありまし</p> <p>こんごわし さんか みなさま いけん ふくし い て今後私も参加させていただいて皆様のご意見を福祉のまちづくりにも活</p> <p>おも ねが かせたらと思っています。よろしく願いいたします。</p> <p>じむきょく ねんどうしょうがいしゃ (事務局) ありがとうございます。それではこれで、令和2年度障害者</p> <p>さべつかいしょうしえんちいききょうぎかい しゅうりょう 差別解消支援地域協議会を終了とさせていただきます。</p>
<p>しりょう 資料</p> <p>・</p> <p>とっきじこう 特記事項</p>	<p>しりょう そうだんたいおうじれいいちらん れいわ がんねん がつ れいわ ねん げつ 資料 1 相談対応事例一覧 (令和元年7月～令和3年1月)</p> <p>しりょう しょうがいしゃ さべつ かん そうだんたいおうじれい かだいけんとうかいぎ 資料 2 障害者差別に関する相談対応事例の課題検討会議</p> <p>よこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎかいぶかい かいさいほうこく (横浜市障害者差別解消支援地域協議会部会) の開催報告</p> <p>しりょう ぐるーぷわーく つか しりょう 資料 3 グループワークに使う資料</p> <p>しりょう しょうがいしゃ さべつかいしょう かん ほんし とりくみじょうきょう 資料 4 障害者差別解消に関する本市の取組状況</p> <p>しりょう しょうがいしゃ さべつかいしょう すいしん かん とりくみしん 資料 5 障害者差別解消の推進に関する取組指針</p> <p>しりょう よこはまししょうがいしゃさべつかいしょうしえんちいききょうぎかいうんえいようこう 資料 6 横浜市障害者差別解消支援地域協議会運営要綱</p>